※令和３年度以前入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	「常用漢字ダブルクリア　四訂版」（尚文出版） 「トータルサポート　新国語便覧」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけてください。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

国語の基本となる「読む」・「書く」・「聞く・話す」能力を育成し、言語を基にした表現能力を高める。また、近代以降のさまざまな文章を理解することにより、ものの見方・考え方・感じ方を深め、現代を生きるための知恵や知識を学び、人生を豊かにする態度を育てる。自身の意見を他者と共有し発表する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	C:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想一	「初めに世界があると知る」 ・「世界は広い」という本文を手がかりに、自分の日常を見つめ直す。	○		◎	○	○	a：教材文の内容をふまえ、「自分の日常」を振り返り、考えようとしている。 c：筆者の主張に対する自分の経験や意見を、読む人に伝わりやすく書いている。 ｄ：筆者の観察と思考との関連を読み取っている。「広い世界との関わり方」について、筆者がどのように考えているか読み取っている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート（→定期テスト）
	評論一	「文化としての色」 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、灰色の美の本質について考える。	○	○		○	○	a：教材文に興味をもち、「色の捉え方」というものの本質について考えようとしている。 b：教材文を読み、自分の「灰色」の感じ方について、経験にもとづいて話し合っている。 d：「人間は灰色をさらに評価することもできる」という部分に込められた筆者の思いを読み取ろうとしている。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート、小テスト（→定期テスト）
二学期	小説一	「山月記」 ・小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間性や相互関係とその心情を読み取る。	○	○		◎	○	a：作品の構成を把握し、小説を読み深めるおもしろさを味わおうとしている。 文学作品を読むことに興味をもち、積極的に他の作品に手を伸ばそうとしている。 b：教材文を読み、自分が関心をもったことについて調べてまとめ、発表する。 d：作品のあらすじをつかみ、場面の展開を理解している。 主人公「李徴」の置かれている状況とその心情を読み取り、理解できている。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート、小テスト（→定期テスト）

※令和３年度以前入学生用

二学期	評論二	「手の変幻」 ・筆者の考えを参考にして、人間にとって「手」とはどのようなものであるかについて考えを深める。	○		○	○	○	a：教材文に興味をもち、「手」というものの本質について考えようとしている。 ｃ：教材文を読み、自分にとっての「手」について、文章にまとめることができる。 d：筆者の主張を読み取り、「手」の重要性と課題について考えを深め、自分なりの考えを持つことができている。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート（→定期テスト）
	評論三	「子どもの言葉」 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、言葉の本質について考える。	○		○	○	○	a：教材文に興味をもち、「言葉と表現」というものの本質について考えようとしている。 ｃ：教材文を読み、自分の「言葉と表現」について、意識していることを文章にまとめることができる。 d：筆者の主張を読み取り、「言葉と表現」の重要性と課題について考えを深め、自分なりの考えを持つことができている。 ｅ：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート、小テスト（→定期テスト）
	評論四	「ホンモノのおカネの作り方」 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。	○	○		◎	○	a：教材文に興味をもち、について考えようとしている。 b：教材文を読んでわかったこと、考えたことについて、積極的に話し合っている。 d：筆者の主張を読み取り、「貨幣の持つ不思議さ」について考えを深めている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・音読の観察 ・ワークシート、小テスト（→定期テスト）
三学期	小説二	「朝のヨット」 ・登場人物の人間性や相互関係とその心情を読み取る。	○	○		○	○	a：小説を読み、登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。 b：教材文を読み、自分が関心をもったことについて調べてまとめ、発表する。 d：作品のあらすじをつかみ、視点の移動に注意しながら、場面や状況を読み取っている。 ｅ： 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	・授業の取り組みの観察 ・ワークシート ・自己評価、相互評価

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。